時事新報

日本醫學の榮譽

我開國四十年一切の文明を西洋諸國に徴ひ著々歩を進るもの多き中にも醫學の進歩は最も著しきものにして時に出藍の譽さへ少なからず蓋し日本國に西洋醫流の行はれたるは開國に先だつこと凡そ八九十年前に在りて洋學の始祖前野杉田大槻宇田川等の諸先生が千辛萬苦斯道の爲めに盡したる餘澤は延ひて今日の後進生に及ぼし往々傑出の技術を現はす者多きこと國家の榮譽なれ就中近日に至りて世界中の醫學社會に名を知られたる者は醫學博士北里柴三郎氏にして氏は去年獨逸より歸朝の後府下芝區の公園附屬地に傳染病研究所を設け尚ほ政府よりも之を補助してすゝ〳〵擴張を謀り近日同區内に新築の計畫もある折柄、研究上得たる所を實地に施して肺患者の全治したる者も少からざりしが此事早くも米國に傳聞して因日桑港の住民フォルスターなる人より北里氏に書を贈りて治療を乞ひけるに埠方の患者その病症を診察せずして請合ふことは固より叶はざれども兎に角に日本に渡來あらば親しく診斷の上病症次第にて治療を試むべしとの旨を返答せしよしなれば遠からぬ中に來航するみとなられん醫國學の研究は醫學中の新事業にして之を實地に施すものは目下世界中に獨逸のコッホ病院と日本の北里研究所と唯二ケ所あるのみ米國人が萬里の波濤を越へて渡來するも間れなきにあらず既に一名の來者あり同症の患者の勢なり斯くて日本醫學の伎倆を以て外國人の病を治するとあれば我國人が百般の文明事業に付る年來彼れを師として學びたる其師恩に對し今度は恰も此方より之を師ゆるの道となり吾々同胞の身に取りて考れば自から愉快のみか正に是れ日本醫術の進歩發達の事實を世界中に顯著するの好機會にして學問の一事に付き日本國をして九州大呂より重からしめたるものなり我輩は敢て北里博士の功勞を稱揚するのみにあらず日本醫學の榮譽として之を祝し又遠に我洋學の先師に向て其遺德を奉謝する者なり依て右フチルスター氏の來書并に封入の新聞紙を陳して左に記す

再啓陳者本月十八日當行の桑港クロニクル新聞に於て別紙切抜きの雜報を見出し申候間愛に封入致候尚又同日付けの同新聞一片をも同便にて御屆け申上候食君の御高名なるみとは兼以て聞知致居候ひしを以て右雜報は實に一層深く小生の注意を惹き申候扨ろの中に特に記載しある所の癩氣に就ては小生の身に其徴候あり如何にて癩は又それに基て六箇月の間中に二回は少々吐血致候みとも有之候但し或は食量ならず或喰も緩々には嘗之候小生の身體は元來食量者の常に外餘上にては呼吸機關に何等の故障又は消化器に異常なきよしなれども常に海黃色なる顏色なれば癩氣の關係を疑はせり と申居候然だれば小生は癩氣の關係を疑はせり が爲め二三週間の中に山間へ旅行の積りに御坐候右の次第に付き速に食慾を旺盛にし體力を強くし日本醫學の權威に基て貴君の御考にて然る可しと思召され候や否やを御心度き事に存之候勿論日本行は不御所且入費多きことに候得共御廉同樣の爲めとあれば何事も妨げとは存じ不申從來小生を診察致し呉れ候醫者は既に當府を出立し數箇月間醫學勉强の爲め獨逸國伯林府へ向け目下渡航の途中に在るみとなれば彼と相談致候みとも叶はず小生は數月以來種々の形に製したるケレチソートを服用致し昨今はケレチソートとゲンチャナと各々十二滴半づゝ混合したる物を一日三回食後に相用ひ居候結核病根治に付き貴君の御療法の有効なるは固より貴君の知る所にして畢竟小生が日本渡航の儲も一身を擲げて君の看護の下に盡くす可しとの目的を以て思立ち候事に御坐候果して今度の日本行を御貴成遂下候得ば凡そ何日位の間日本滞在を要す可きや特に願を煩し度尚ほ小生に適當と被思召候事共萬端御教示被下度一日も早く御返詞奉待候敬白

千八百九十三年五月二十二日

桑港

北里博士　坐右

コンスタンチン イー エー フチースター

桑港クロニクル新聞切抜の譯文

日本一學士の大事業

望の絶へたる肺病患者の治療

北里氏の試驗の爲め日本皇帝病院を建つ

千八百八十五年より九十二年に至るまで獨逸國伯林のドクトル コッホに愛育されたる門弟子にして破傷風の黴菌及び其治療法の發見者として醫學社會に名を知られたる日本東京のドクトル北里は近ごろ肺結核の治療上に著しき好成績を得たりと云ふ此度オレアニック號にて東京より來着せしプロフエツソルマコーレイ氏が昨日社員に語りたる所に據れば日本の國會は昨冬の開期に於て近時歐洲より歸朝したる北里氏をして傳染病及び其治療法を研究せしめんが爲めに今年は四萬五千圓（二萬五千の誤）明年及び明後年は一萬五千圓づゝ支出するみとに決議せり但し北里氏は獨乙に滞在中みれ等の研究に從事して評判頗る高く大に醫學社會に名聲を博したり氏の研究等の諸病なるが殊に肺結核の療法に就ては昨冬來の實驗に著しき成効を得たるが如し若しも其報告にして誤らざる以上は是れ如即ち全世界に影響を及ぼす可き至重至大の事柄と謂はざるを得ず

マコーレイ氏の話しに氏は東京を出立するに臨み一日北里氏の研究所を見物したる中、其既に取扱ひし肺病患者の日記を見たり其患者の中、五人は二ケ月半の間北里氏の療法を受け廿五人は受療以來僅に數週間に過ぎざる者なりしが然るに右五人の中、四人は病の敵候既に癒く消散し全治と認めたるを以て退出を命じ後の一人も殆んども全治したれども尚ほ少しく病徴は存す又殘の二十五人も一人として多少快方に赴かざる者なし是れ等の病人は皆何れも病の第二期を經過せざるものなれども其病勢が如何なる程度にまで達したるかを示さんが爲めに左に一患者の容體を記す可し

一方の肺臓の傷、餘り廣四肋骨の邊まで潰爛を呈し

身體羸瘦

右の如き容體は三十名の病人中最も多く見る所なり北里氏は肺病を第二期に治療するを難しとせざれども既に肺臓に空洞を生じたるものは治療の見込なしと云へり右の病人の中一名は北里氏方に來る前六週間病床に臥し居たりと云ふ

前記の患者は何れも始めて北里氏の治療を受け次第に快方に赴き一箇月の間に咯痰の量六十瓦より減じて二十瓦と爲り一名の患者は體量四十八キログラム半より五十二キログラム四分一に增加したり其他の場合に於ても全く體量の增加せざるものは一人もなかりしと云ふ

世界中最も恐る可き此病に斯る勝利を得たるにも拘はらず北里氏は未だ日本に於て其事實を公に報道したるみとなし其故は目下政府が同氏の爲めに建築しつつある大なる病院に氏の治療を受けんとて國中より集り來る可き夥多の患者を容るゝに差支なきまでに出來上り居らざればなり併し六月の始には右の病院も成工する筈なれば其上は氏の治療の結果も必ず世に公布せらるゝみとなる可し氏の療法は數年前世界に評判高かりしコッホ氏のチュベルクリンに改良を加へたるものにして即ち改良チュベルクリンと名付る藥を皮下に注入して血液中に吸收せしむるに在り其藥は肺臓の健康なる部分を侵かれしむるの効能あり是れに依て既に病に罹りたる部分をも次第次第に健康に復せしめ終に病根を除き去るの工風なりと云ふ

北里氏の療法に就て最も注意す可きの要點はチュベルクリンを皮下に注入するも是れが爲めに有害なる反動的の發熱を惹起すの恐なき一事なり獨逸にて舊名チュベルクリンの注入法を行いたる節は必ず發熱を免かれざりしが今度新藥の治療を受けたる患者の中に注入の爲めに熱を發したる者は僅に一人にして且たゝ一回に過ぎず左れば患者が治療を受けたる爲めに身體の勢力を失ひて輪く衰弱するが如きみとは更になし

マコーレイ氏の說に今日北里氏の治療の成績を見て肺結核の療法意よ發見されたりなゝ斷言するは固より尚ほ早し氏の治療を受けて全治したる患者なりとて果して眞實に全快したる者なるや否やは唯時を經て始めて知るを得可りしと雖も然れども兎に角、みの病に罹りて一時望なかりし患者が今は外見上全く平癒したるものゝ如く其他患者の中、日々次第に快方に向ひつゝあるは實際に疑ふ可らざる事實なりと云ふ

北里氏は醫學社會に抜群非凡の研究者として知られたる人物にして曾て東京の帝國大學に在りし時より傳染病の研究に心を委ねて無心勞したるより遂に內務省局者の注目する所と爲り千八百八十五年官費を以て獨逸に遊學せしめられコッホ博士と共に獨逸醫學を高門として研究するみとゝなれり氏の卽ち陸軍に臨み伯林大學プロフエツソルの稱號を授けられたる外國人の身を以て此榮譽を得るは古來未曾有のみとにして是れまで既に數多の者は其上に輝逸を發揮せるは日本帝國の榮譽なりと報道し船ひしを以て其結果としては日本帝國の勳章を授與されたり日本の政府及び國會は北里氏の從事する業務の大切なるを思ひ氏をして充分に其天才を發揮して人間世界を利せしむるの路を開きたり氏が今日まで既に成遂げたる事業は決して輕視す可きものにあらず世界中何處に於ても氏の事業の性質を開傳へたる者は皆うの驚嘆の結果の如何を知らんと欲せざるはなし

雜報

○鹿兒嶋縣第六區の候補者　は何人が打て出るや未だ判然せざれども去る八日發行の鹿兒嶋新聞には東黨候補者に付て之を題し本縣第六區選出の薩田代議士死去の電報東京に達するや大に東京人士の注意を惹き起せしと見へ（東民兩黨の候補者に付ては勿論其他候補記載する新聞多し（間には中村博愛氏と同黨ならんと記載する新聞多し（間には中村博愛氏と同黨ならんと記載する者あり）但し之れは普通の想像に出でし記事ならん云々と云て中央新聞の記事を掲げ之に疑問を存し更に山本氏の名は中村博愛氏とか蒲生仙氏とか又は佐藤通代氏とか云へる如く第六區には餘り關係なければ云々と記したり又同日の鹿兒嶋毎日新聞には同區の補欠撰擧は狀恰も大闘の角力を見るが如き觀あり而して多くは我黨の勢力を知らず本縣正義黨の魔價を惹くは此一事に在りと記したるを見れば未だ同區の候補者として打て出でたるものはなきいよ〳〵撰擧運動に着手したる以上は兩派の競爭目覺しきものあるべし

○三曜研究兩派員の會合　子爵議員撰擧期日も最早一週日を餘すみとゝなりたれば各有志者は候補者を撰定して夫々同族中を勸誘しつゝある由なるが明十四日三曜研究兩派員諸氏は內山町なる華族會館及び新し橋外なる同事務所に集會し夫々協議を凝はす筈なり

○慈善會事務所の設置　東京市養育院寄附の爲め來る二十五日より三日間歌舞伎座に於て團菊左三優の顧揮ひにて慈善演劇を催す由なるが右に付一兩日前東京府縣內に假事務所を設置し諸般の事務及び各有志者の寄贈品等を取扱ひ居れりと

○地方通信一束

○陳情委員　宮城縣より山形縣に達する橫斷鐵道問題に付き山形縣東村山郡の町村長會議にて交渉委員を設くるみとに決議し仙臺市の有志者及び天童町の陳情委員等互に氣脈を通じ本年の第五期帝國議會には大に運動を試みんと意氣込み居るよし

○無資格問題　山形縣酒田町の町會議員小關孝悟氏は公民資格なくして當選せりとの攻擊起り同町の一問題となりしが同町長中山氏は別紙の回書ありたるを以て當選を無効なりとする旨町會に提出し無事に落着したりと云ふ

當選無効書

酒田町長中山氏の回書

當選無効書

酒田町長中山氏の回書

當選無効書

酒田町長中山氏の回書

○龍ケ崎巡行　茨城縣河內郡龍ケ崎町の有志者は同町の一部を劃設せんとして福山村書記を同地に出張せしめ去る十一日開業式を擧行せりと云ふ

○御料地拂下の紛議　栃木縣下の紛議は數年前より新役員選出せしが著任多數の名義にて二萬餘坪の眞五千本を拂下げたる其代價は七千五百圓以上なりとも僅に新任町長に遊りて御料地の上二十名の總代を選出せり多數の名義のものに分配せしむるものなりと云ふ

○鹽業原紙　長野縣小縣郡の鹽業者は製造人が聯絡して會社を組織し原紙を賣捌さまりて好評を博せしに今年は一大强敵なりとて密かに羽爲紙製造を起りて其進歩遠に驚かるゝ由なり

○製油所の焼失　新潟縣長岡市の製油所は去る六日午前五時にして他に延燒せざりしと云ふ

○廓外の遊廓　富山市の廓外の遊廓は一大强敵なりとて密かに聞く所によれば市中の各旅宿（遊廓敵）より市中の各旅宿（遊廓敵）から遊廓外に一の遊廓を見の風說なりとの人は申し居るよし

○岐阜縣教育會　の常議員會は尋校附屬小學校內に開會し教育に關する議案を決せりと云ふ

○客車往復時間　大津停車場より同縣知事と相手取り行政訴訟を提起せんとの事件の顚末は數年前世界に評判高かりしコッホ氏の治療法に關する